



奈良町にぎわい通信

Vol.29

二〇一七・白露〜秋分

発行
奈良町
にぎわいの家





町家でネイチャーゲーム



各部屋を探検中。



座敷の広さを体感するために一人ずつ紙飛行機をとばしました。



子ども町家探検

ん？影になって見える字はなんだ？



畳の感触いいなあ！



町家の夜
(詳細は次頁)



次のお部屋へ行くよー。

奈良町にぎわいの家 8月のイベントから



蔵展示
「くら、まっくらくら」
提灯や和傘が
おばけに変身！



なぜか、いくつ
でもすくえて
しまう？
ヨーヨー釣り！



熱波を日陰で
しのごう！

夏休み企画「かき氷体験&ヨーヨー釣り」



かまど夏休みメニューは
カレーライス



裏庭のトマト
を収穫。



自分で作る
かき氷は
美味しいよ！



蚊帳での紙芝居。



20Wのほの明るさは
大人たちに大好評！



暗闇の町家探検！

町家の夜(8/26) 体験会レポート

100年前の町家の夜、どんな雰囲気？人々はどんな風に夜を過ごしていたのでしょうか？まず、青い蚊帳の中で「うりこひめとあまのじゃく」の紙芝居を。元気な子どもたちもつつみこまれているような蚊帳の空間の中では、静かにじっと聞いてくれました。

それから、100年前の灯りの明るさを体感。岡田一郎さん(美術家)が用意して下さった20Wの電球に取り換えると、今まではっきりくっきり見えていたものが、ぐっと色のトーンを落として、ほの暗いけれど全体を照らすそんな明るさになりました。さらに、時代を遡っての光を体験。燈明に火をつけ、その光だけにすると、燈明のまわりだけ、オレンジ色に光り、あとは暗い闇。大正、江戸時代とタイムスリップしたような感じがしました。

それから、ほの明るい燈籠を持って、町家巡り。暗い廊下、もし一人で行けと言われたら、さぞかしこわかった！と思います。あの窓から、にゅーっと手が？！暗いといろんな想像をしまいます。

そして、幻燈遊び、種絵をみんなで描き、襖に映しました。なかなかピントを合わせるのが難しかったので、もっと時間があったらよかったのですが。また、お家で遊んでくれるかな。最後にかき氷。みんなサリサリと氷を削り、わいわいおしゃべりをしながら、おいしくいただきました。

西村智恵(当館スタッフ)

8月蔵展示～当館スタッフによる 「ここがおすすめ！にぎわいの家」



当館の見どころ満載の写真が集まった写真展示企画。スタッフならではの視点から、おすすめポイントを紹介。「え？こんなとこ、あるの？見てみよう。」とお客様が言われるくらい、流石は日々、にぎわいの家を案内しているスタッフならではの写真です。茗荷がデザインの引き手や、趣のある庭石、照明器具や通り庭の組木…。建物の魅力とその奥深さが、スタッフのおすすめコメントの中にも見えます。お客様の滞留時間も長く、何気に入館しただけではわからない、当館の良さを紹介できた展示となりました。また、企画しますので、まだ見ておられない方は、次回、お見逃しなく！



奈良町にぎわいの家 二十四節気葉書 ～白露～

露が降りた土の感触、
土踏みながら
紫紺に輝く茄子を
五、六個収穫した
白露の朝です。



しらつゆの降りし大地を
踏みながら紫紺の茄子を
五、六個とりぬ

オリジナル節気短歌
喜多隆子(歌人)
節気マーク・
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)

事務局だより

2017
秋分号

月の力

事務局長 藤野正文

やつと過ごしやすい季節になりましたね。季節も大地が冷えてきて露がで始める「白露」に。ツバメも南の国に帰っていき、残暑はあるものの、日に日に朝夕の涼しさが増してくる時期です。旬の食べ物では、いちじくや梨、さんまででしょうか？早ければもう新米が食べられる季節。初候は「草露白（くさのつゆしろ）」で、朝の出勤時には、道端の草の露が白く光って見える時期ですね。秋の楽しみの一つは、お月見。日本の秋の代表的な風物詩。全国各地で観月祭が開かれます。今年の「中秋の名月」は少し遅くて十月四日（満月は六日）のようです。昔から日本人は、月の力を信じて神として崇め、月の満ち欠けと共に暮らしてきました。お月見は、秋の収穫を喜び、感謝する行事で、そういえばお月さんでウサギが餅をついている？また、お団子などと共に供えられるススキは、月の神様を招く依り代（よりつく対象物）として供えられたと言われています。また、昔から、すすきには魔除けの力があると信じられていたようで、ススキによせるささやかな願いが伝わってきます。



にぎわいの家では、毎日、玄関先、通り庭に、水をまいていますが、こちらは、8月の奈良市の打ち水大作戦の折の様子。みんなでまけば更に涼しい！

私は知りませんでした。三大名月鑑賞地」というのがある。そう、京都の大覚寺大沢池、大津の石山寺とともに奈良の猿沢池となっています。町中では、街灯や商店の照明が明るくなり、月の光をたよりに歩き、お月様を見上げることも少なくなりましたが、あらためて、東の空に浮かび、猿沢の池に映るお月様を眺めに行こうかと思っています。この季節は、にぎわいの家の縁側にススキを生けてお月見のしつらえもしています。夜のお月見というわけにはいきませんが、昼間にその雰囲気でも見ていただければ、秋の雰囲気を楽しんでいただければ幸いです。



にぎわいスタッフのおもてなし

絵手紙体験
親子、海外の方も。

体験茶会
みんな一緒にお点前を。

奈良町にぎわい通信vol.29

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917
nigiwainoie@gmail.com
<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書：逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



白露
9/7~22



秋分
9/23~10/7

晝(ひる)も夜も秋七草の
そよぎある花野をとほく
めぐる風あり
前登志夫(歌人)